



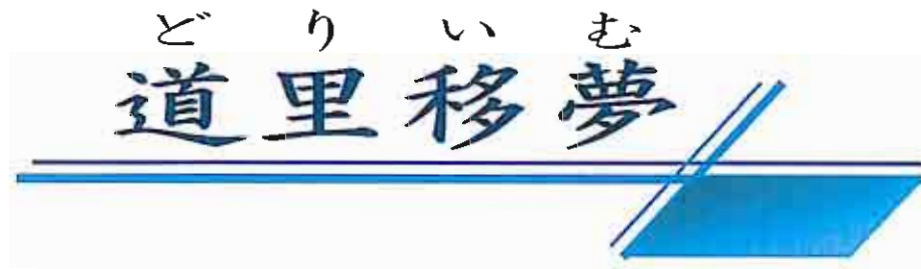
河南総政第 49号
平成20年10月20日

国土交通省道路局

局長 金井 道夫 様

大阪府南河内郡河南町

町長 武田 勝玄



～道（道路空間）が育む、里（都市近郊の田園空間）との
交流（移動）への“夢”の実現に向けて～

南河内には道路網の充実が急務

その実情の踏まえた道路行政施策の展開を！

《今後の道路行政についての意見》

道路の交通渋滞による沿道環境の悪化や交通事故等が大きな社会問題となる中、今後の道路行政は、常に道路利用者や住民の目線に立ち、効果的に道路交通施策を推進し、地域の課題を解決していくことが求められています。

また、今般の道路特定財源の一般財源化に伴う税制論議等、道路財源をめぐる具体的な議論が深まり、新たな道路建設が困難となるのではという懸念が広がりつつあります。こうしたことは、大阪都市圏の中でも道路の整備率が極めて低く、交通不毛地帯となっている本町が位置する南河内地域にとっては、非常に深刻な問題であります。

本地域では、現在においても、渋滞による時間的損失が顕著であり、潜在する地域資源をこれにより十分に活かしきれていないのが実情です。

また、鉄道網はもちろんのこと、バス等の地域公共交通も充実しておらず、地域における生活の利便性にも支障が生じ、若者の定着を阻み、高齢化を助長するばかりか、地域医療や福祉、防災的観点からも住民生活への直接の影響が懸念されるところであります。

このように、南河内地域では、地域振興や今後の発展を目指すにあたって、道路整備の低さが大きな障害となっています。

道路整備は、生活、文化、経済等、まちづくりの根幹をなし、産業、医療や福祉、教育、防災や環境等あらゆる地域の内発的発展に寄与し、その効果は計りしれません。

今般の道路の中期計画見直しにあたっては、南河内地域の実情を十分に踏まえた計画とされるよう、切に願うものであります。

南河内への道路網の充実に向けて

★南河内高速道路（仮称）の整備実現

★国道309号（河南赤阪バイパス）、府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線（山城バイパス）の整備促進



わがまち・河南町から金井国土交通省道路局長へ送る今後の道路行政へのメッセージ

『安全安心な交通アクセス強化』と『地域振興』に強力なご支援をお願いします！

●南河内高速道路（仮称）の整備実現について

大阪の都市近郊としての地域特性や産業特性、歴史や文化芸術など、恵まれた地域固有の資源を有効に活用させることが南河内地域の今後のまちづくりにおける最大の課題ですが、その基盤となるのが、道路整備です。

広域的な幹線道路網（特に高規格幹線道路）の計画策定にあたり、南河内地域の交通空白地帯の解消策として、南河内高速道路の整備実現を切に願います。

●国道309号（河南赤阪バイパス）や山城バイパスなど、幹線道路の整備促進

交通渋滞の緩和や地域の交通安全の改善のみならず、南河内における地域振興や円滑な物流の促進、救急医療や防災対策に資する幹線道路の整備も高速道路と同様に南河内地域になくてはならないものであり、道路の整備進捗に影響がないよう、道路整備財政特別措置法に基づく地方道路整備臨時交付金及び地方道路整備臨時貸付金のより一層の拡充を願います。

●南河内地域と奈良県南和地域を取り込んだ地域密着型の観光圏（関空共栄圏）づくり

関西圏への来訪が多い傾向にある韓国や中国、台湾等、東アジアからの観光客を関西国際空港を軸として、南河内や奈良県南和地域に呼び込むことにより、紀伊半島を横断する形の広域的な地域振興を図ることができます。

そのためにも、南河内高速道路（仮称）や幹線道路の整備促進は必要不可欠であります。

●道路の維持管理財源の確保

舗装や橋梁等、道路施設において、耐用年数を迎える施設が増加傾向にある中、厳しい財源の下でも、事故等の交通障害を未然に防止し、道路利用者の満足度を向上させるため、対症療法的維持管理から予防保全型の維持管理への転換を図り、効果的かつ効率的に維持管理していくことが重要であり、それに必要な財源を確保されるよう、切に願います。

●現状

河南町が位置する南河内では、大阪の都市近郊としての立地条件、産業特性や豊かな自然、歴史、伝統、文化、芸術等、恵まれた素晴らしい地域固有の資源を有効に活用させることが、まちづくりにおける共有の重要課題であります。しかし、南河内地域における道路事情は、大阪都市圏の中でも道路の整備率が低く、潜在する地域資源を活かしきれていないのが実情です。

南河内の将来を語るには、真に必要な幹線道路網の整備が不可欠です。

近年、少子高齢化や核家族化が進み、子育て家庭や子どもを取り巻く環境は著しく変化し、世代間でふれあう機会が減ることで、高齢世帯の孤立などお年寄りをめぐる問題、子どもの非行や児童虐待など子どもをめぐる問題、母親の育児不安などの社会問題が深刻化しています。

核家族化の進展には、個人のライフスタイルの変化のほかに、職住接近の志向や地域間における就労機会の格差などもその大きな要因といえます。

●課題

まちづくりにおいて目指す発展は、「経済発展」はもとより、「もう一つの発展」に移り変わりつつあります。それは、コミュニティの活性化であり、多くの人たちが交わる空間を有効に活用し、その地域特性をもって住民のための住民による地域活性化が求められています。その役割を担うひとつが道路網や道の駅それに付帯する直売所等の道路関連施設です。

道路関連施設の整備は、都市と里山・農・林空間との交流の場が創出され、保全と活用をもたらし地域の内発的発展に大きく寄与します。

就労・就学や子育て環境など、あらゆる場面における地域間の格差そのものの解消が求められるとともに、またその格差のある地域間の距離、時間を短縮することが求められています。

まさに、そのことを実現する観点からも、高速道路の整備が果たす役割は実に大きなものとなります。

国土の根幹をなし、広域的な経済活動や観光・交流を支え、災害時等の代替路や救急医療にも貢献する高速道路こそが、

“人の命と心を支える大動脈”であり、健全で均衡のとれた国土の発展、健全な社会生活の実現のために欠くことのできない重要な社会基盤であります。

●住民のニーズ にあったまちづくりの展開

- 犯罪、交通事故、災害に対して、「安全」なまち であること
- 就業、教育、介護福祉に対して、「安心」できるまち であること
- 余暇、健康、生涯生活に対して、「安住」できるまち であること

⇒⇒⇒ 子どもや高齢者等にとって安全で安心、安住なまちづくりを支える道路行政が求められる

●まちを支える基盤となる道路行政の展開に不可欠な要素

- 整備できる環境が整っていること（建設投資財源・権限・人材）
- 維持管理する環境が整い、その行為が充実され、確実であること（維持管理財源・権限・人材）
- 道路利用者の利用満足度を向上させること（救急医療、災害時の救援活動、自然保護活動、日々の営みと余暇活動等、適時適切に道路機能が発現できること）

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果、評価等）

大阪府南河内郡河南町

●重点事項	●代表事例	●期待する効果や評価等	●その他
◎安全・安心な交通アクセスの強化 ◎地域振興による活性化への取り組み ◎確実な維持管理の推進	◎南河内高速道路（仮称）整備による交通アクセスの強化 ◎幹線道路の整備 ・国道309号（河南赤阪バイパス）の整備 ・府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線（山城バイパス）の整備 ◎橋梁等道路施設の日常点検及び補修更新（予防保全の徹底）	◎供用後による周辺道路の渋滞緩和、交通事故低減等 ◎沿道における日常利便施設の整備促進 ・幹線道路整備に伴い、集客性の向上によるスーパーマーケット等の立地と商圏の拡大 ◎道路の利用満足度の向上 ・道路交通の安全性・信頼性を確保するため、これまでの傷んでから修繕する事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化及び計画的な修繕・架替えを実施することで、予算の平準化・コスト縮減を図ることが不可欠	◎南河内と奈良県南和地域をつなぐ新たな観光ルートの構築 ◎将来的に三重県央南部をも取り込んだ関西国際空港共栄圏の東部振興拡大を果たす

「食べる・作る・つなぐ」食の安全と安心づくり

- ◎地域特産農産物（なにわ伝統野菜・大阪エコ農産物等）の百貨店等への即時搬送
- ◎遠隔地への輸送コストの低減により安心・安全な農産物を消費者ニーズに応えてより安く家庭へ提供
- ◎食料自給率の向上に資する「都市近郊農業の付加価値」を広域的にPR

～バランスの良い食生活の提供～

なにわ伝統野菜や大阪エコ農産物などの地域ブランドをその鮮度を保ったまま、一般家庭の食卓に提供することは、地域農家にとっては本当に喜ばしいことです。また、都会に住む人の中で、自ら生産した農産物を食べたいという思いから、田舎暮らしの人気が高まっています。

良好な農業地域を有している南河内地域に高速道路ができ、また奈良側との府県間道路網（幹線道路）の整備改善により、食材輸送の時間距離が短縮され、大人だけでなく、子どもたちも「食」の大切さを知り、「農」を考える機会が広がります。つまり、食育の促進に大きく寄与することにも繋がるのです。

地域振興と産業振興の起爆剤

- ◎シャープ太陽電池パネルベイの雇用効果を南河内へ取込み
- ◎沿道地域への企業誘致、産業振興と地域振興

大阪臨海部のパネルベイがもたらす経済効果を更に南河内へ取り込むことで低迷する雇用・就業機会を創出することができます。また、パネルベイでの就業者が、日常の仕事で蓄積している「ストレスの解消」や「癒し」を求めて緑豊かな南河内へ来訪するなど、パネルベイと南河内を結ぶ地域間交流が期待されます。

その起爆剤となるのが、南河内高速道路（仮称）や幹線道路網の整備改善であり、中長期的なスパンで道路がもたらす効果をしっかりと見据えておくことが南河内地域における今後の道路行政に求められています。

命を守る。災害への確実な対応に向けて

- ◎救急患者の救急告示病院への迅速な搬送
- ◎被災地域へ救援物資を即時に搬送
- ◎地域に対する信頼感と郷土愛の醸成

～危機管理への確実な対応に向けて～

南河内地域は、地域医療の連携や防災対策の推進に不可欠な道路網が充実していないため、緊急時の医療サービスの提供や地域住民の生活への十分なケアが、懸念されるところです。

また、逼迫する南海東南海地震や多発する豪雨災害等に対して切実な不安を抱えており、緊急時にはドクターヘリによる高度救急搬送も考えられますが、悪天候や夜間時においては必ずしもその機能が満足されないため、地域の危機管理体制の構築には、やはり道路網の充実が不可欠です。

国土の根幹をなし、平時には広域的な経済活動や観光・交流を支え、災害時には、緊急物資輸送や救急医療にも貢献する高規格幹線道路（高速道路）こそが、“人の命と心を支える大動脈”であり、その整備が実現すれば、災害等の危機管理への体制の充実が図られます

生活の安全と安心

- ◎通過交通車両と生活車両の交通バランスの確保
- ◎通学路や買い物みちにおける交通安全性の確保

南河内地域の道路では、奈良・和歌山・大阪中心部などから大型車両等の通過交通が多く、幹線道路での交通渋滞を避けて、通学路等に流入するなど、生活道路の安全・安心が脅かされています。また、慢性的な交通渋滞により、NO_xやPMの排出等の大気汚染や騒音振動を引き起こし、居住環境への影響が懸念されています。

そのため、南河内地域に高速道路を整備し、また府県間道路の整備改善を施し、地域の幹線道路と有機的にネットワークでつなぐことによって、交通需要に応じた適切な交通配分が実現されるだけでなく、みんなが『これからの人と車のつきあい方』を考える良い機会となり、生活道路の安全安心や地域の環境保全に大きく寄与するものと期待します

豊かな地域資源の発信（南河内の新たな観光圏の気運づくり）

- ◎風景や森林等、金剛葛城山系の雄大な山々の風景
- ◎たおやかに流れる川と昔ながらの懐かしさあふれる集落
- ◎近つ飛鳥風土記の丘、大阪芸術大学から広がる歴史・芸術の発信

～地域の魅力発信による観光振興～

《ゆっくりと急いで、ゆったりと豊かに》

幹線道路網の整備は、いわば「緩」と「急」を自在に使い分ける仕掛けであります。目的とする場所には、速やかに到達し、そこでゆったりと豊かな時間を満喫することができ、地域の自然・歴史・伝統・文化・芸術等に触れる機会がより多くなり、人としての感性を磨き、日本人が少し忘れかけている、さわやかで豊かな人間関係を取り戻すことができます。

こうしたことで、地域間の交流が促進され、地域振興に大きな効果をもたらすことができます。

観光は、個人の生活にゆとりと心の豊かさをもたらしてくれます。幸いにも、南河内地域には、多くの伝統芸術や歴史観光資源や大阪芸術大学という学術研究機関があります。

大阪芸術大学では、日中、日韓交流はもとより、昨年にはモーツァルト生誕250周年式典が行われ、オーストラリアとの交流が一段と進められるなど、グローバルな視点で国際交流が活発化しています。

関西国際空港と大阪都市圏を南河内経由の高規格幹線道路ネットワークで結ぶことにより、国内のみならず海外からの来訪者の利便性が高まり、観光地としての活性化が期待され、またそれらを通じて、南河内地域の魅力を世界に発信することができると思っています。